

ふぉーふぉ通信



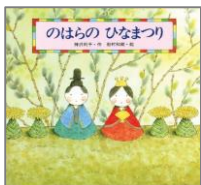
http://www.mpc-kodomo.sakura.ne.jp/fukurou/

Vol.216 発行 2024年3月1日

三寒四温を繰り返し春の訪れを少しずつ感じ出しました。
3月は出会いや別れの時期でもあり、思い出も大切にしたいですね。

ご連絡ごとはこちらへ。
TEL.0858-22-0351

今月のおすすめ



『のはらのひなまつり』
作：神沢 利子
絵：岩村 和朗
出版社：金の星社

色紙で作ったおひなさま。風に飛ばされてのはらの動物たちのところへおでかけします。



『おおきくなるっていいこと』
作：中川 ひろたか
絵：村上 康成
出版社：童心社

みんなおおきくなってねー。
おおきくなるっていいことは、
歯が生えること、服がおおきくなること、泣かなくなること、
あなたのおおきくなったことはどんなことですか？

こぼれ話

出張先で孫と図書館で大型絵本を見ていると、1組2組・・・と親子が周りに寄ってこれ孫は嬉しそう。来られてるママに絵本をめぐってもらったり、ページをめくりながら一緒に声を出してみたり、気分転換に図書館を覗いてみたと言う隣の区のママがいました。

絵本は良いのはわかっているけれど、何をどう読んだらいいの？そんなママたち達と出会い、絵本と一緒に見て、ページを開いていく楽しさ、赤ちゃんを楽しめる絵本を紹介してみたりとお話しにはながさきます。

時々職員さんが様子を見に来ています。「楽しかった。ありがとうございました」と言われ、帰る頃に「えっ？！職員さんのお話会と思ってました」の言葉を頂き皆さんとさようなら。孫の住む区の図書館での嬉しいひとときでした。



Rホールでの第一木曜日、乳幼児親子の読み聞かせ会はお休みです。

春3月こんな絵本もどうぞ



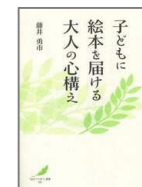
『あ・り・が・と・う』
矢崎 節夫 (著)、
絵：田頭 よしたか
サンリオ



『きみにありがとうのおくりもの』
作：宮野 聡子
出版社：教育画劇



『ちっちゃいこえ』
脚本：アーサー・ビナード
絵：丸木俊・丸木位里「原爆の図」より
出版社：童心社



『子どもに絵本を届ける大人の心構え』
藤井勇市 / 著
出版社名「絵本で子育て」センター



特定非営利活動法人こども未来ネットワークの主催の
公開研修会「乳幼児の発達課題とメディア」
3月3日(日)10時～11時30分未来中心セミナールームC
小林 和子さんが講演されますぜひご参加ください。

成人になりました

たくさんの出会いや喜び、悲しいことを積み重ね20年が経ち、新成人となりました。
今は子ども一人ひとりが自信を持って生きてほしいという思いから小学校教諭を目指して大学に通っています。そこで絵本のプレゼンをする機会があり、**ふくろう**を思い出しました。少し絵本から離れていた期間でしたが、小さい頃から読んでいた絵本を目に通すと自身の様々な感情にふれることができました。そんな素敵な体験を多くの人に積み重ねてほしいのちゃんです。



こんにちは。小さい時「**ふくろうの会**」に何回かお邪魔させていただいた僕は20歳になりました。現在は将来の夢である看護師になるために学校に通い勉強に励んでいます。正直学校はとてもきついですが、学校で出会った友達と一緒に将来の夢を叶えるために日々頑張っています。好きだった絵本は『バムとケロ』でした。 たかしくん

「おおきくなりました！」募集中。我が家の成長のお写真、コメントお寄せください！